

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	福岡県における河川を身近に感じられる環境整備												
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	福岡県												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・那珂川の中流域は、都市化が進む福岡市において自然環境が残る貴重な空間であり、沿線の住民から都市部における街のオアシスとしての親水機能が強く求められている。 ・那珂川の高水敷等の整備を行い、河川を身近に感じられる空間を創出することにより、点在する河川公園を接続させて沿線住民の満足度の向上を図る。 ・諏訪川の管理用通路を整備することにより、世界遺産等個々の拠点や水辺空間を中心としたネットワークを構築することにより、地域の活性化を促進する。 ・高良川の高水敷や管理用通路を整備し水辺空間の魅力を高めることで、周辺施設との回遊性を高め観光・交流ネットワークの構築、地域の活性化を推進する。 												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,620	A	1,620	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	河川環境整備事業を実施することにより、点在する河川公園を接続させるための管理用通路の延長を0m(H27当初)から5,400m(H31末)に増加させる。 点在する河川公園を接続させるための管理用通路の整備延長	0m	m	5400m

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
その他総合的な治水 事業	A08-001	総合治水	一般	福岡県	直接	福岡県	環境	—	河川環境整備事業（那珂川）	高水敷整備、管理用通路等	福岡市	■	■	■	■	■	980		—
	A08-002	総合治水	一般	福岡県	直接	福岡県	環境	—	河川環境整備事業（諏訪川）	管理用通路整備等	大牟田市			■	■	■	340	1.09	—
	A08-003	総合治水	一般	福岡県	直接	福岡県	環境	—	環境整備事業（高良川）	高水敷整備、管理用通路	久留米市				■	■	300	4.16	—
											小計						1,620		
											合計						1,620		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事業実施主体が目標達成度調査結果を基に評価を行う。

事後評価の実施時期

令和4年3月

公表の方法

ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

河川環境整備事業を実施することにより、一部について周辺施設との回遊性を高めるための管理用通路を整備することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

次期計画において、周辺施設との回遊性を高め水辺空間を中心とした観光・交流ネットワークを構築するため、指標に資する事業を推進していく。

案件番号：

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	5400	
	最終目標値	5400m
	最終実績値	1570m
		関係機関との調整により、計画通りの整備進捗が図れなかった。